【4-5 評価シート 介入研究】

診療ガイドライン	CQ13ビスホスホネート製剤、抗RANKL抗体は腎機能が低下した患者に対しては減量が推奨されるか？
対象	溶骨性病変を伴う骨転移
介入	ゾレドロン酸投与4mgまたは8/4mg
対照	パミドロン酸 90mg

＊各項目の評価は"高(-2)"、"中/疑い(-1)"、"低(0)"の3段階
まとめは"高(-2)"、"中(-1)"、"低(0)"の3段階でエビデンス総体に反映させる

各アウトカムごとに別紙にまとめる

アウトカム	血清クレアチニン上昇

個別研究		バイアスリスク*										非直接性*					リスク人数(アウトカム率)								
		選択バイアス		実行バイアス	検出バイアス	症例減少バイアス		その他																	
研究コード	研究デザイン	ランダム化	コンシールメント	盲検化	盲検化	ITT	アウトカム不完全報告	選択的アウトカム報告	早期試験中止	その他のバイアス	まとめ	対象	介入	対照	アウトカム	まとめ	対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標(種類)	効果指標(値)	信頼区間
Rosen, Cancer04 4	RCT	0	0	0	0	-1	-1	0	0	-1	-1	0	0	0	-1	-1	388	—	6	378	—	7.7			
Rosen, Cancer04	RCT	0	0	0	0	-1	-1	0	0	-1	-1	0	0	0	-1	-1	388	—	6	364	—	11.9			
Rosen, CancerJ 4	RCT	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	0	0	0	-1	-1									
Rosen, CancerJ 8/4	RCT	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	0	0	0	-1	-1									
Rosen, Cancer03 4	RCT	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	0	0	0	-1	-1	389		9.3	377		10.7	RR	1.057	
Rosen, Cancer03	RCT	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	0	0	0	-1	-1	389		9.3	364		19.4	RR	2.187	

コメント(該当するセルに記入)